

2 . 鈴木 友一郎 様 提出資料

(仮称)「沖縄子ども安心居場所 計画」

子どもの居場所づくりを

子どもの育ちを沖縄振興の重点課題に（沖縄モデルの構築を・・・）

ももやま子ども食堂：理事（事務局長）鈴木 友一郎

要望

「沖縄子ども安心居場所 計画」の策定を目指していただけますようお願い申し上げます。

理由・背景

沖縄の子どもの貧困問題は他県の子どもの貧困問題とは大きな相違点があると言えます。復帰後も子どもの育ちを支える社会基盤が追いついていないのが現実です。

同時に、戦後から子どもを支える専門性を持った人材が不足している状況は現在も続いており、その事も一貫して大きな課題と言え、子どもの育ちを支える人材の育成も求められています。

居場所づくりを考える上で

- ①現状
- ②歴史的背景
- ③沖縄市の状況から
- ④中長期課題と 今、出来る事
- ⑤子ども食堂の取り組み
- ⑥居場所づくりの必要性と可能性（期待される効果）
- ⑦事業計画の必要性

現状

子どもの貧困に関する指標
全国比較

	沖縄	全国	順位
有業者中年間所得200万未満世帯	24.7	9.4	1
非正規就業率	44.5	38.2	1
母子世帯出現率	5.46	2.65	—
高校進学率	96.0	98.4	47
大学進学率	36.2	53.5	47
若年無業者率（15.～34歳）	4.2	2.2	1
不良行為少年補導人数（人口千対）	182	35	1
生活保護率	2.50	1.71	5
就学援助率	19.26	15.64	10

貧困の考え方



親の生活基盤

失業率、所得、不安定雇用

歴史的背景

米統治の27年間により、保育所・児童館・学童クラブ（保育料の高さ）等の子どもの育ちを支える基盤整備が大幅に遅れ、現在も大きな課題を残す

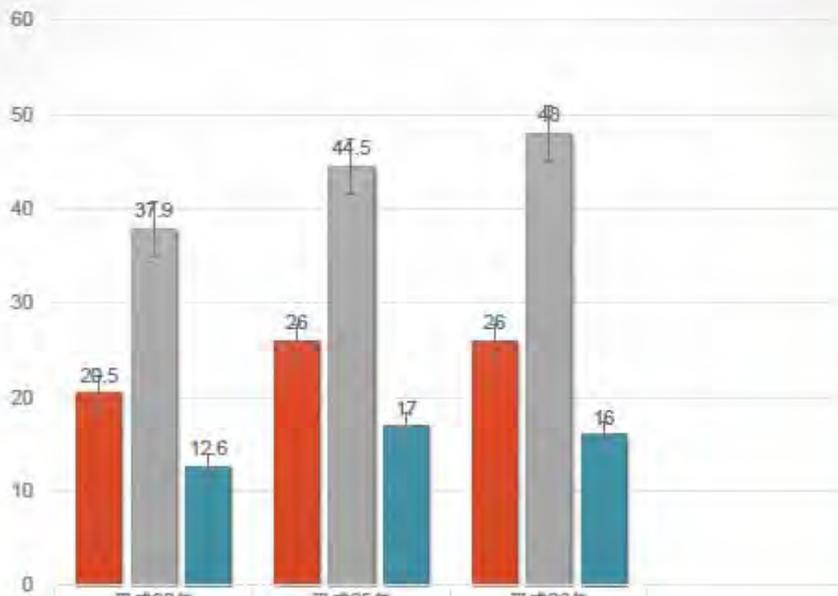
地域社会の変容

復帰後の急激な変化に伴い、都市化や少子化等の影響で人間関係の希薄化も進み、地域の中で子どもを育てる機能が失われる

保護者のシンドさ

保護者の経済・就労状況が不安定な社会構造の中で育っている。保護者が構いたくても構えない状況も見られ、復帰後から現在も改善されていない（安心の子育て）

沖縄の子どもの貧困背景



	平成20年	平成25年	平成26年
平均	20.5	26	26
高い校区	37.9	44.5	48
低い校区	12.6	17	16

軸ラベル

平均 高い校区 低い校区

沖縄の子どもの現状

就学援助率

例、沖縄市内

16小学校区（親の経済状況）
沖縄市教育委員会による聴き取り

保育階層	%	世帯年収	保育料
第1階層 (生活保護)	0.76%	生活保護世帯	0
第2階層 (住民税非課税帯)	26.31%	255万円未満	6,000
第3階層	21.08%	334万円未満	13,100
第4階層	25.12%	467万円未満	19,300
第5階層	15.94%	640万円未満	26,100
第6階層	9.52%	932万円未満	27,200
第7階層	0.62%	1132万円未満	28,200
第8階層	0.60%	1132万円以上	32,100

認可園に預けている親の階層区分
(平成24年度：沖縄市保育幼稚園課より聴き取り)

保護者の経済的困窮を見る一つの指標

基盤整備の遅れ

県内
児童館
整備率

表一 県内10市における児童館の設置状況

	児童館		小学校		中学校		18歳以下人口
	設置数(A)	対象人口	設置数(B)	B/A	設置数(C)	C/A	
沖縄市	2	15,898	16	8.0	8	4.0	31,795
那覇市	11	5,996	37	3.4	16	1.5	65,957
宜野湾市	5	4,218	8	1.6	5	1.0	21,091
石垣市	1	10,811	20	20.0	9	9.0	10,911
浦添市	11	2,440	11	1.0	5	0.5	26,938
名護市	1	13,847	13	13.0	8	8.0	13,847
糸満市	2	6,884	10	5.0	5	2.5	13,768
豊見城市	1	14,240	7	7.0	3	3.0	14,240
うるま市	5	5,437	18	3.6	10	2.0	27,184
宮古島市	5	2,213	20	4.0	16	3.2	11,066
南城市	6	1,417	9	1.5	5	0.8	8,499

資料：平成22年国勢調査、平成25年度学校一覧（沖縄県教育委員会）

沖縄市学童クラブ 高い利用率 (平成24年度)

数	児童数	利用料	
公設公営学童クラブ	2	52	6000円
民設民営学童クラブ	34	1012	平均13000円

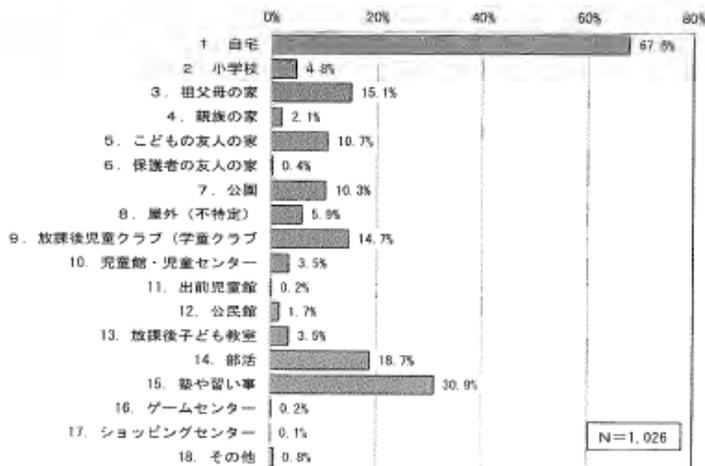
子どもの生活実態

子どもの居場所に関するアンケート調査結果（沖縄市内16小学校全小学校1・3・5年各クラス保護者アンケート調査より（平成25年7月推計）

2) 放課後の過ごし方について

問1 お子さまは学校が終わるとどこで過ごしますか。

「1. 自宅」が7割弱（67.8%）と圧倒的に多く、次いで「15. 塾や習い事」（30.9%）、「14. 部活」（18.7%）、「3. 祖父母の家」（15.1%）となっており、自宅以外は塾や習い事、部活、祖父母の家が居場所として多く選ばれていることがわかる。



放課後、自宅で誰と過ごしているのか

自宅で一人で過ごす割合の高さ

	1.父	2.母	3.兄弟・姉妹	4.父方の祖父母	5.母方の祖父母	6.その他の親族	7.その他の人	8.誰もいない	無回答
全体	65 9.3%	474 68.1%	194 27.9%	66 9.5%	69 9.9%	14 2.0%	1 0.1%	112 16.1%	4 0.6%
小学校1年生	20 11.6%	142 82.6%	50 29.1%	13 7.6%	15 8.7%	7 4.1%	0 0.0%	11 6.4%	0 0.0%
小学校3年生	16 7.1%	151 67.4%	69 30.8%	27 12.1%	20 10.3%	2 0.9%	0 0.0%	37 16.5%	2 0.9%
小学校5年生	29 9.7%	181 60.3%	75 25.0%	26 8.7%	31 10.3%	5 1.7%	1 0.3%	64 21.3%	2 0.7%

こども施策
の立ち遅れ

保育園の待機児童
率人口比全国一、
認可外保育施設が
子育てを支えている

学童保育の整備
が立ち遅れ
ている（高い
利用料）

児童館や
居場所の
未整備

社会的養護が必要な子どもの居場所が追いついていない

安心出来る居場所や大人との関わり
多くの体験は育ちや学びに影響
子どもの貧困に繋がる

対策

保育園・学童クラブ・児童館等の基盤整備を図る

時間が必要

今できる事:可能な事

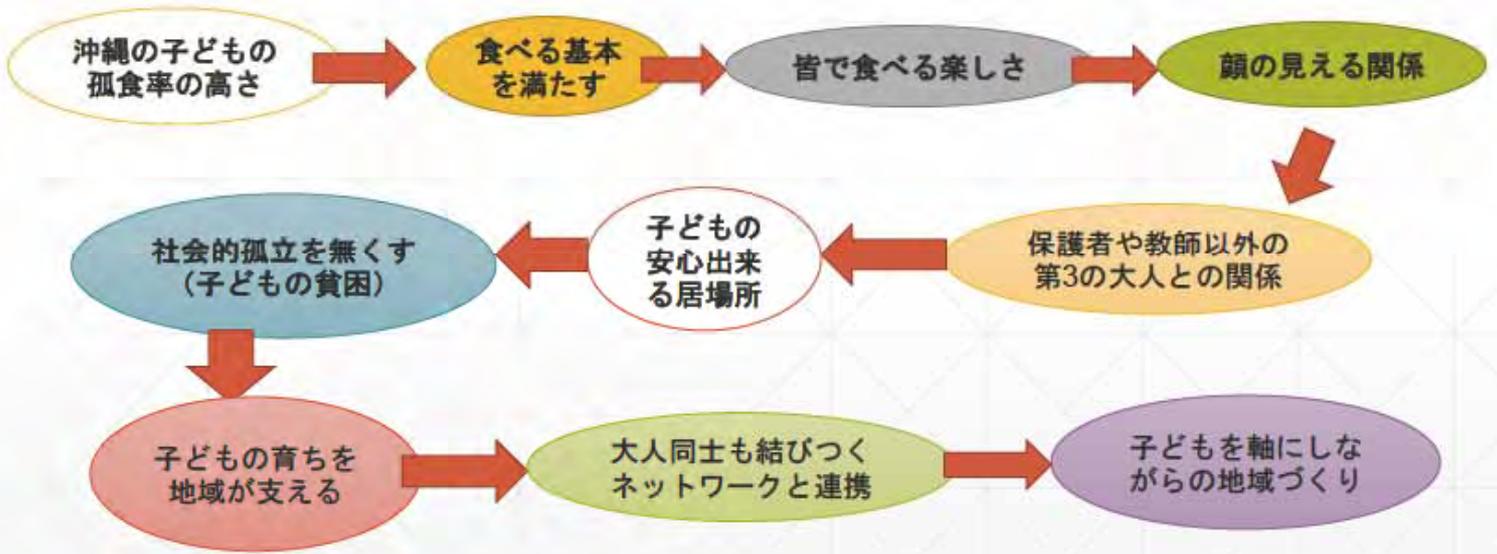
子どもを取り巻く
地域の大人が変わ
る関わる:連携

地域の中で子ども
の育ちを支える

社会資源の活用
(新たな居場所づくり)

子ども食堂の取り組み

目指している事



子ども食堂の課題

運営資金が助成されれば広まる可能性は大きい

子どもが歩いて来れる場所

子どもが安心出来る場所

顔の見える関係

各地域で創る

運営資金

場所の確保

人材等、社会資源の活用

官民連携

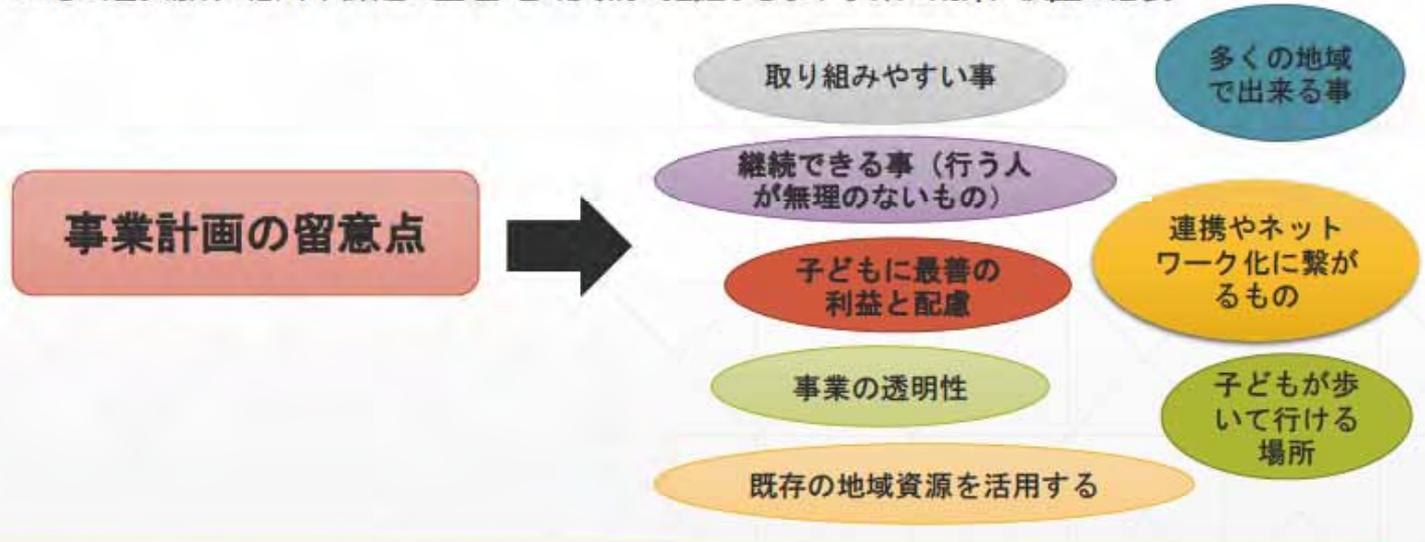
今後必要な事

夜の居場所づくりの必要性

関わる大人の人材育成と配置

事業計画の必要性（助成事業になればの話ですが・・・） 県内で広がる可能性が高い（各地域で模索の動きがあります）

子どもが通う場所の意味や課題の整理・地域実情を把握する事や事業の効果、検証は必要



先進地の取り組み

子どもの学習支援
居場所づくり活動
～滋賀県の取り組みから～

1

福祉施設を活用した取り組み
支援を要する子どもの夜の居場所

小規模多機能事業所

特養ホーム地域
交流室

2

子ども食堂推進事業

母子福祉会

商店主・大学生・住民

社協

NPO法人

社会福祉法人

子どもの居場所づくり（子ども食堂）期待される効果



終わりに

子どもの居場所づくりは貧困対策の意味からも大きな意味を持っています。

居場所づくりは、安心して過ごせる場所がキーワードになります。地域の大人や子ども同士の関わりを創り出すため、地域や官民、など従来の枠を超えた連携が求められます。

自助・公助・共助が連携してエンパワメントを引き上げていく。事業計画が実践に結びつく動きやネットワークづくりと連携が図れる「（仮称）沖縄子ども安心居場所 計画」の策定を目指していただけますようお願い申し上げます。

全国的に、急激な人口減少社会の到来が叫ばれる中、本県に置いては若年人口が増加すると言われており、可能性が高い地域という見方が出来ます。

その質をより高いものにする為に、沖縄の子どもの貧困対策は沖縄振興の中心に位置付けられる課題と考えます。集中的な予算投下と自治体や地域、子どもの支援の実情に合わせた、施策や計画を節にお願い申し上げます

子ども食堂（居場所づくり）に関しスーパーバイズを受けた団体:個人

1、幸重社会福祉士事務所

（滋賀県子どもの居場所づくり活動：滋賀県社協＝スーパーバイズを行う）

2、京都 NPO法人：山科醍醐子どもの広場

3、一般社団法人：沖縄県子ども総合研究所

（沖縄県の子どもの貧困実態調査を受託）

4、加藤彰彦（沖縄大学 前学長）

5、山野良一（千葉明德短期大学 教授）



NPOももやま子ども食堂

設立の経緯

県内では以前より、自宅で1人又は兄弟だけで食事をする子どもの割合が全国平均の2倍という報告があります。（独立行政法人日本スポーツ振興センター：児童生徒の等の食生活に関する調査2010年 全国：小5 2.2% 中2 6%→沖縄：小5 4.1% 中2 12.4%）その様な実態を踏まえ、子どもの育ちや子育てを共に支え合う地域づくりが今こそ必要と思われまます。

食べるという人間にとっての基本を満たし、信頼できる大人や若者と繋がることで、子どもにとっての安心や生きる力を育む居場所創りが出来ればと思います。

子どもは地域の宝であり希望です。子どもを軸にしながら、子どもも大人も互いに助け、支え合う事が求められていると考え、有志が集まり「ももやま子ども食堂」の設立に至りました。

組織体制

- ▶ 理事会 7名 (理事長 比嘉道子)
- ▶ 運営ボランティア 20名
- ▶ (諸見里婦人会、地域住民、学生、有志他)
- ▶ 活動場所 沖縄市諸見里 1-1 1-20-2F
- ▶ (コザ信金スタジアム裏 老人福祉センター楽寿園通り)

子ども食堂が大切にしたい5つの事



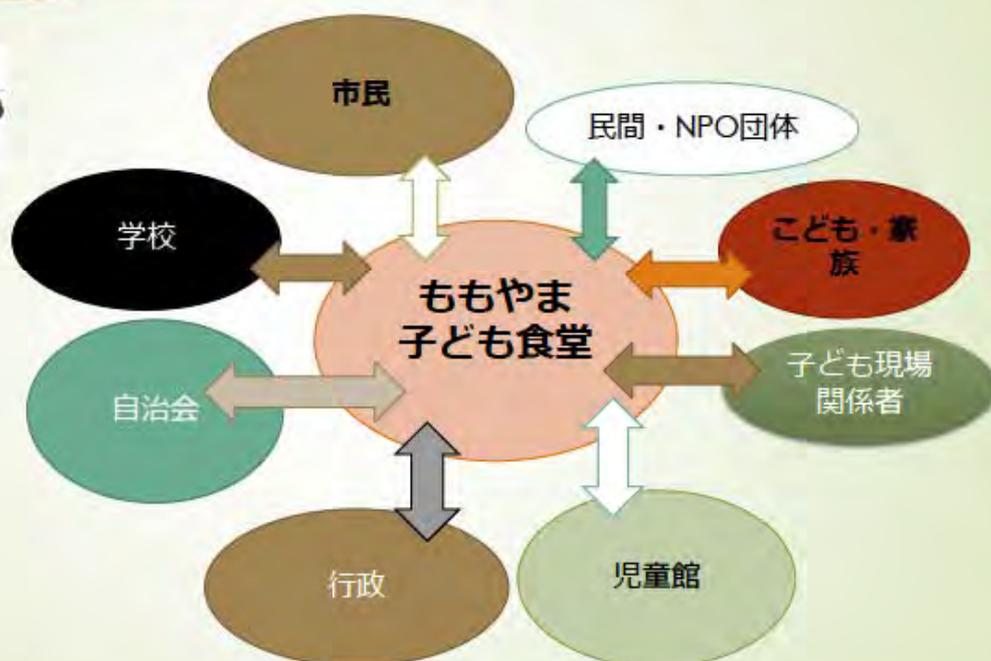
- ▶ ①子どもの最善の利益を考えること
- ▶ ②遊びの場・休息の場であること
- ▶ ③学びの場であること (自信と自己肯定の場)
- ▶ ④子ども一人ひとりを大切に出来る場であること (子どもの自尊心を守り育てる)
- ▶ ⑤子ども同士、共に助け合っていける場であること

活動日



- ▶ (毎週土曜) 17:00~19:00
- ▶ 子どもが1人でも入れる食堂です。
- ▶ 皆で、ユンタクしながら楽しく御飯を食べます。
- ▶ 誰でも、100円で栄養バランスの良い食事が食べられます。
- ▶ お手伝いをしてくれた子どもは無料です

■活動イメージ (地域課題と子ども食堂との連携)



御寄付：御協力のお願い

- ①寄付金 1口：3000円
- ②食材の提供
- ③ボランティアスタッフ



(株) ゆうちよ銀行
郵便口座 【店番】 708

- ▶ 普通貯金
- ▶ 【口座番号】 1797044
- ▶ 【名称】 エヌピーオーモモヤマコドモショクドウ

地域に **子ども食堂** をつくろう!

～ 子どもたち一人ひとりが大事にされる居場所 ～

「遊べる・学べる淡海子ども食堂」は…
“**ごはん**”を通じて、子どもと地域が
つながる場をつくることによって、さみしさ
やしんどさを抱える子どもたちを地域で
見守り、育てていく、地域ぐるみで子ども
を大事にする**根根のない居場所**をつくっ
ていく**事業**です!

ごはんを食べたり、宿題をしたり、本を
読んだり、遊びを通して、子どもが大人に
大事にされる場所を、緑センター会員と地
域の方たちの思いと工夫でつくっていきま
しょう!



▲写真はイメージです

地域での展開のイメージ



遊べる・学べる淡海子ども食堂



どこで、どんなことができるかな?
食堂の作り方は、皆さんの工夫次第!

「うちの地域でやってみよう!」という団体や グループを募集します!

- 実施団体 → 緑センター会員および会員が推薦した団体
- 活動の支援

- ① 初年度経費等の助成 初年度20万円、2年目、3年目10万円(3年まで)
- ② 運営への助言、支援、学習会等の開催等

【平成27年度分 募集受付期間】

平成27年8月24日(月)～平成27年12月25日(金)

滋賀の縁創造実践センター リーディングプロジェクト

遊べる・学べる淡海子ども食堂 推進事業

子ども食堂の実施状況(平成27年11月2日現在)

NPO法人CASN 晴嵐みんなの食堂



5/10(土) 10:30-13:30
 5/2(土) 10:30-13:30
 5/5(土) 10:30-13:30
 5/12(土) 10:30-13:30
 5/19(土) 10:30-13:30
 5/26(土) 10:30-13:30
 6/2(土) 10:30-13:30
 6/9(土) 10:30-13:30
 6/16(土) 10:30-13:30
 6/23(土) 10:30-13:30
 6/30(土) 10:30-13:30
 7/7(土) 10:30-13:30
 7/14(土) 10:30-13:30
 7/21(土) 10:30-13:30
 7/28(土) 10:30-13:30
 8/4(土) 10:30-13:30
 8/11(土) 10:30-13:30
 8/18(土) 10:30-13:30
 8/25(土) 10:30-13:30
 9/1(土) 10:30-13:30
 9/8(土) 10:30-13:30
 9/15(土) 10:30-13:30
 9/22(土) 10:30-13:30
 9/29(土) 10:30-13:30
 10/6(土) 10:30-13:30
 10/13(土) 10:30-13:30
 10/20(土) 10:30-13:30
 10/27(土) 10:30-13:30
 11/3(土) 10:30-13:30
 11/10(土) 10:30-13:30
 11/17(土) 10:30-13:30
 11/24(土) 10:30-13:30
 12/1(土) 10:30-13:30
 12/8(土) 10:30-13:30
 12/15(土) 10:30-13:30
 12/22(土) 10:30-13:30
 12/29(土) 10:30-13:30

- 7月、8月に1回ずつ開催。以降は月1回の開催
- 会場:商店街のコミュニティスペース
- 商店街、民協、社協、龍谷大学ゼミのメンバーで実行委員会
- 生活福祉課、子ども家庭課等が呼びかけ
- 子ども5名、ボランティア5名
- 無料



平野学区母子福祉のぞみ会 子ども食堂平野学区のぞみ

平野 子ども食堂のぞみ

～みんなで作る楽しいクッキング～

月 日()

会場:平野市民センター
 10:30-13:30
 予約:なし
 対象:0歳～小学生
 費用:無料
 申し込み:お電話またはお申し込み書



みんなで作る楽しいクッキング

平野学区母子福祉のぞみ会主催
 料理:和食 洋食
 予約:お電話またはお申し込み書

- 夏休み中は月2回開催。以降は月1回の開催
- 会場:平野市民センター
- 平野学区母子福祉のぞみ会主催(市社協共催)
- ひとり親家庭の子どもを中心に誘い掛け
- 子ども15名、ボランティア5名
- 無料
- 調理実習方式

若いも若きも おいわか子ども食堂「おいで屋」

おいで屋

7/28 (水) 10時～15時
 8/4 (火) 10時～15時
 8/20 (木) 10時～15時

みんなで作る楽しいクッキング
 予約:なし
 対象:0歳～小学生
 費用:無料
 申し込み:お電話またはお申し込み書

- 夏休み中に3回開催。今後も定期開催予定
- 会場:若いも若きも
- 若いも若きも主催
- 特にしんどさを抱える子どもに誘いかけ。学校、児童館、行政と連携
- 子どもや高齢者10名、ボランティア10名
- 250円(子どもは手伝って無料に)



社会福祉法人グロー ながはま こども食堂



- 8月19日スタート。毎月第3水曜日開催
- 午後4時30分～7時
- 会場:老人ホームながはま 地域交流スペース
- 社会福祉法人グロー主催
- 地域(神田地区)の子ども
- 子ども15名、スタッフとボランティア10名
- 200円(子どもは手伝って無料に)



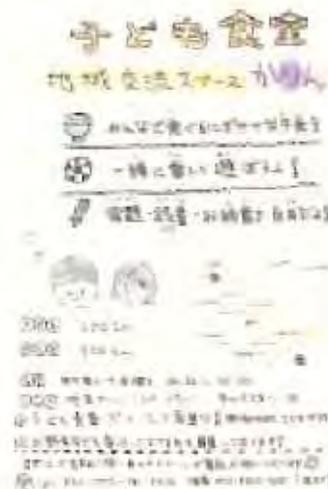
栗東市社協 ゆうあいこどもカレー★食堂



- 8月28日スタート。毎月第4金曜日開催
- 午後6時30分～7時30分
- 会場:ゆうあいの家
- 栗東市社会福祉協議会主催
- 治田西学区に住む子ども、子どもと一緒に保護者
- 申込み不要
- 子ども約60名、スタッフとボランティア15名
- 200円(子どもは手伝って無料に)



NPO法人スペースウイン 地域交流スペース かりん



- 9月11日スタート。毎月第2・4金曜日開催
- 午後4時30分～8時00分
- 会場:喫茶かりん(スペースウイン)
- NPO法人スペースウイン主催
- 守山南学区に住む子ども、大人
- 子ども5名、スタッフとボランティア5名
- 子ども200円、大人500円



滋賀の縁創造実践センター「居場所づくり」小委員会

社会福祉施設を活用した支援を要する子どもの夜の居場所

県内フリースペースの概況

フリースペース

フリースペースカーサⅠ（大津市）

（特別養護老人ホームカーサ月の輪 地域交流スペース）

- ◆2015. 3. 31より毎週火曜日17:30~21:00に実施。（8.31現在 計21回実施）
- ◆スクールソーシャルワーカーが子どものつなぎ役。
- ◆子どもと専門的にかかわるワーカー、ボランティア、施設職員、社協がチームとなり実施中。
- ◆小学校6年生の男の子が継続して参加している。※当初未就業の保護者も一緒に参加し、社協の相談窓口を通して就労につながった。
- ◆ボランティアには大学生だけでなく、大津市社協のトワイライトステイでサポートを受けてきたが若者が携わっている。

フリースペースカーサⅡ（大津市）

（特別養護老人ホームカーサ月の輪 デイスペース）

- ◆2015. 5. 26より毎週火曜日17:30~21:00に実施。（8.31現在 計14回実施）
- ◆スクールソーシャルワーカーが子どものつなぎ役。
- ◆子どもと専門的にかかわるワーカー、ボランティア、施設職員、社協がチームとなり実施中。
- ◆中学校2年生、小学校5年生、4年生、2年生、4才の女の子が継続して参加している。



フリースペースかなで（大津市）

（小規模多機能事業所 時間の姿）

- ◆2015. 7. 31より毎週金曜日17:00~20:00に実施。（8.31現在 計4回実施）
- ◆市子ども家庭相談室が子どものつなぎ役。
- ◆子どもと専門的にかかわるワーカー、ボランティア、施設職員、社協がチームとなり実施中。
- ◆小学校2年生男の子、4才の女の子が継続して参加している。



フリースペースせせらぎ（甲賀市）

（特別養護老人ホームせせらぎ苑）

- ◆2015. 9. 29より毎週火曜日17:30~20:45に実施予定。
- ◆学校とスクールソーシャルワーカー、施設職員、社協、市社会福祉課・生活支援課等がチームとなり実施体制を検討。
- ◆スクールソーシャルワーカーが子どもをつなぐ。
- ◆小学校3年生男の子が参加予定。

フリースペースアイリス（大津市）

（特別養護老人ホーム近江舞子しょうぶ苑）

- ◆実施体制については調整済み。
- ◆スクールソーシャルワーカーが実態把握とつなぐ子どもを学校および市と調整中。

「やってみよう!」と思ったら・・・申請から報告までの流れ

関係書類
受取り

・「子ども食堂」の企画内容について、緑センター会員もしくは緑センター事務局に相談し、実施申請に必要な書類を受け取ります。(書類は、滋賀の緑創造実践センターのホームページからダウンロードできます。)

モデル
事業申請

・3年間の事業計画およびモデル事業終了後の事業展望計画を作成し、実施申請書とあわせて緑センターに提出します(会員以外の団体は、会員を通じて提出してください)。

決定通知
書受取り

・モデル事業として決定されると「決定通知書」が緑センターから出され、「助成金請求書」に基づき、助成金が指定口座に振り込まれます(申請から概ね3か月以内)。

事業実施

・緑センター会員(推薦団体)や緑センター事務局が定期的に訪問し、運営面の相談に応じます。
・研修会、交流会等の案内をします。

報告

・毎年4月末までに「実施報告書」を緑センターに提出します。
・上記報告書と合わせて、「継続実施申請書」を提出してください。

淡海 子ども食堂



Q 実施回数(頻度)の目安ってどれくらい?

A 月に1回以上の実施を目安としています。同じ場所で定期的に食堂が開かれていることは、地域の子どもたちや大人たちが集まりやすく、つながりを感じる機会が増えることにもつながります。

Q アレルギーはどのように配慮すればいいの?

A すでに実施されている食堂では、卵や乳製品の使用を控え、アレルギーのある子どもは事前に確認する等、配慮されています。また、食中毒に注意し、食品を取り扱しましょう。

Q 助成金はどんなことに使えるの?

A 立ち上げにかかる初度経費、運営費を考慮していますので、主に備品の購入やチラシ作成に必要な経費、消耗品や保険料、活動者の交通費等にお使いください。

子どもの
貧困、放っ
ておけない!

子どもが安心
して居られる
場にしたい



ごはんって
大事ななあ

緑センターらしく、地域のなかで協力して、制度ではできない民間福祉らしい取り組みをしよう!

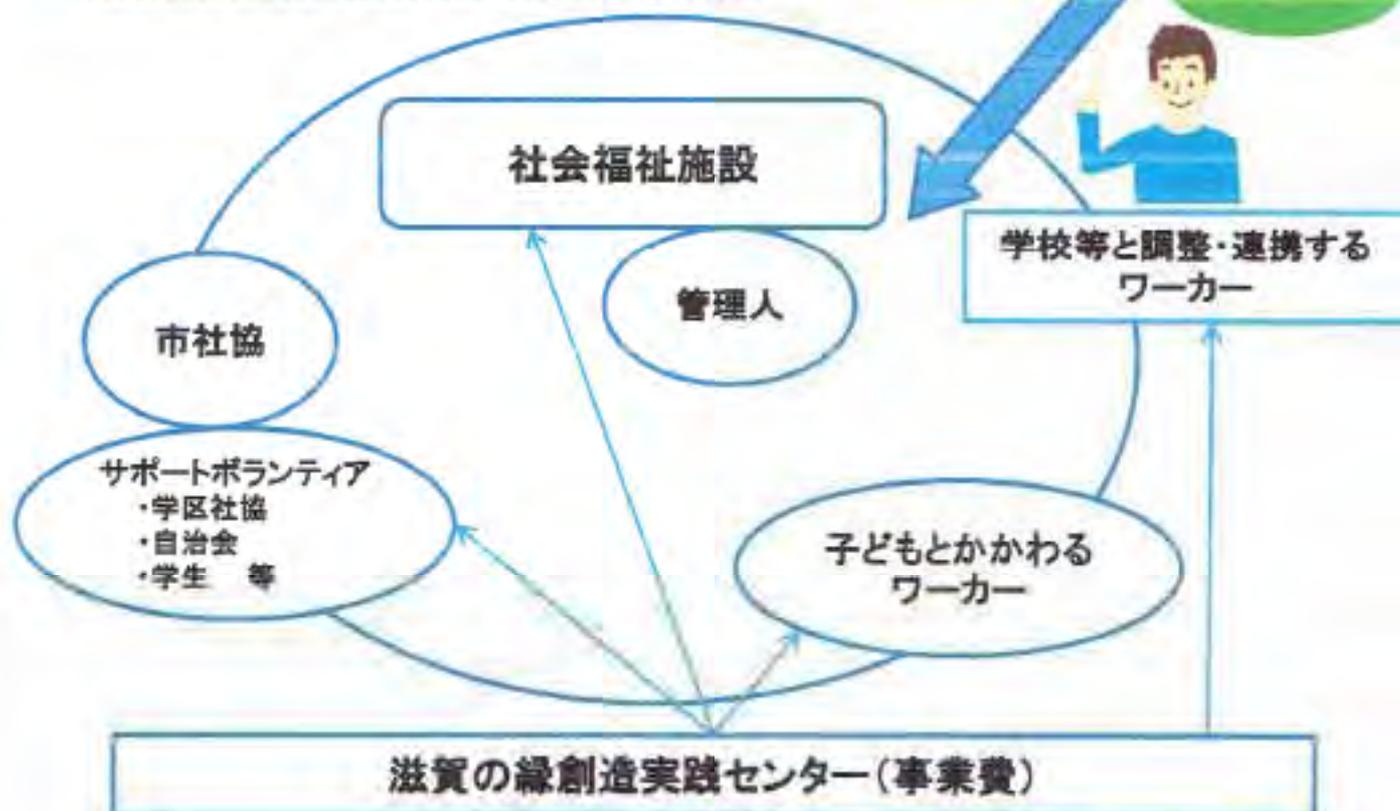


♥お問い合わせは…
お近くの緑センター会員

または
滋賀の緑創造実践センター
電話 077-569-4650
緑センターホームページにも案内があります。

フリースペース 実施体制

社会福祉施設には、24時間必ず人がいる、ご飯がある、お風呂がある。子どもや親を孤立させない・孤立を防ぐために、すでにある地域の資源や人がチームとなり地域の居場所づくりに取り組みます。



<モデル事業の役割および報酬等について>

①学校等と調整・連携するワーカー

(スクールソーシャルワーカー経験者が望ましい)
 ・学校等と調整・連携する役
 ・報酬:3,500円/1h

②施設職員

・居場所での管理人、見守り役
 ・運営費等:3,000円/1回
 (内:管理費1,000円、食事費2,000円)

③居場所サポートボランティア

・学区社協や自治会、学生等
 ・報酬:1000円/1回 交通費込み

④市社協

・学区社協との調整、ボランティアの呼びかけ、居場所から見てきた相談への対応 (コミュニティソーシャルワーカー)

⑤子どもとかかわるワーカー

・常駐して子どもとかかわるワーカー
 ・報酬:1,000円/1h

⑥ボランティアコーディネーター

・ボランティアの調整役